

エコボカードとポイント付与対象イベントの一つ、江戸川クリーン作戦



市川市民納涼花火大会は2年ぶりに復活

政 行

エコボカードのポイント

守屋貴子議員(民主・連合)
エコボカードのポイントは、市指定のボランティア活動等への参加で取得できるが、取得方法がよく分

らない市民もあり、明確にしてほしい。また、例えば市民向け講座の講師へのポイント付与等、取得方法の拡充が望まれる。さらに、ポイントの利用メニューも、

**取得方法や利用メニューの拡充を
拡充図り利用しやすい制度工夫する**

市川市民納涼花火大会

越川雅史議員(緑風会)
今夏は市民納涼花火大会が復活するというところで、関係諸団体と共に開催日前後に全市民参加型イベント

を行なうなど検討できないか。答 花火大会は本市の観光資源の一つであり、地域の祭り等とも合わせて地域の活性化を図っていききたいと

**全市民参加型イベントで盛り上げを
市民全体で取り組めるよう検討する**

人口減少社会への対応

石原よしのり議員(民主・連合)
本格的な人口減少社会の到来に対して、市はどのような対応、施策を考えているのか。財政状況が厳しく

なる中、従来の開発拡大型の街づくりから、生活の質を重視する身の丈に合った街づくりへと発想を転換し、早期に長期的ビジョンを立

**早期に長期的ビジョンの構築が必要
新たな人口推計を基に方向性探る**

シティセールス

並木まき議員(みらい)
本市は、これまで豊富な文化・歴史的資産等を活用した観光や、「市川の梨」を主軸とした物産を中心とし

る住宅都市として発展してきた本市がシティセールスを検討していく際には、観光・物産だけでなく、本市の住みやすさ、快適性などの付加価値を加え、良好な生活環境を示していくことが重要と考えている。これらをセールスポイントとして、「住んでみたいまち」を発信していきたい。

**ソフト面にも着目すべきでは
「住んでみたいまち」を発信したい**

政 行

P P S (特定規模電気事業者)

かつまた竜大議員(社民・市民)
P P Sからの本庁舎への電力導入の入札は、今回は不調と聞けが、入札に踏み切ったことは評価したい。

市として、不調となった要因や、今後の導入への取り組みをどう考えているのか。答 1社での入札となり、予定価格を上回る入札結果であったことから、不調と

**入札不調の結果受け どう取り組む
再度導入へ向け準備進めたい**

T P P (環太平洋経済連携協定)

高坂 進議員(日本共産党)
政府は国民への説明も国会での議論も無く、一方的にT P P参加への交渉を始

めた。農業・医療・福祉 答 T P Pについては、関税問題はもとより、医療や保険、雇用、食の安全などへの影響が広く議論されている。市として、その詳細が未確定な段階では、個々を具体的に検討することは困難であるが、市民生活や地域経済を守るために、今後も各方面からの情報収集に努めた上で、慎重に検討し対応を図っていききたい。

**市政に及ぼす影響 どう考える
情報収集に努め対応を検討**

振り込め詐欺対策

増田好秀議員(みんなの党)
本市の平成23年中の振り込め詐欺被害件数は65件、被害額は約1億3400万円と例年より増加している。

市は、被害防止の啓発活動や相談体制の整備を講じているが、相手の電話番号が確認できる、ナンバーデイスプレイ付電話機等の推奨や講座、啓発パンフレットなどにより被害防止を図っている。今後も警察等との連携を今まで以上に密にし、撲滅に取り組む。

**被害件数増加 効果ある予防策を
警察等と連携し撲滅に取り組む**

見直し事業の選定プロセス

大場 諭議員(公明党)
事業仕分けでは、見直し対象事業の決定プロセスにおいて、客観的な事業評価が必要である。本市でも

各事業につき項目ごとに数値化等を行うことで現状を示す「事業事業評価システム」を確立して、行政評価を市民に公表し説明責任を果たす、あるいは内部での見直しに活かすべきである。市の考えを問う。答 事業仕分けの対象事業の選定では、各事業内容及び評価の可視化が重要と認識している。現在、約1千件にのぼる事務事業を施策として束ねて評価する、新しい形での評価システムを構築中であり、平成24年度中には確立したい。

**事務事業評価システムの確立を
施策ごとに評価 平成24年度中に構築**